

企業名

パーカー精密工業株式会社

代表者名

久保隅 博通

設立年月日

昭和54年5月16日

資本金

4,000万円

従業員数

41名

所在地

〒252-1108 綾瀬市深谷
上8-21-5（綾瀬工業団地内）

TEL. 0467-76-1626

FAX. 0467-77-5193

<http://www.parker-seimitsu.co.jp/>psinfo@pnk.co.jp

事業テーマ

大型樹脂成形機用スク
リュー製造リードタイム
短縮

補助金の挑戦により

補助金のチャレンジは技術的課題の解決に留まらず、
また従業員の育成にも貢献しており、次世代のリーダーものづくり補助
金を知った
きっかけ

当社の関連会社の紹介でものづくり補助金というものを知りました。当社は1次公募は残念ながら間に合いませんでした。その後、色々アドバイスを受けながら2次公募に無事採択されることになりました。綾瀬市商工会から中小企業診断士の先生を紹介され、事業計画書の作り方などをレクチャーいただきました。平成23年当時、取引先より短納期要請をこれまで以上に求められるようになり、設備投資を検討している段階でした。平成24年の夏に設備の発注を考えていたので、ものづくり補助金の実施のタイミングとぴったり重なり、当社としては大変助かりましたね。

実は平成26年度も公募申請の準備を

進めてきましたが取りやめました。私はものづくり補助金は新規事業に供されるべきものと考えておりますが、今年は事業計画がどうしても合わなかったからです。その代り今年は省エネ補助金を利用させていただきましたが、今後は人材関係の補助金などもチャレンジしていきたいと考えています。

ものづくり補助金の課題
と成果とは

射出成形機や押出成形機のスクリューに対応する大型スクリューは従来、受注から納品まで4カ月かかっていたのですが、2カ月に短縮する要請がありました。それは簡単にできることではなく、当社の大きなチャレンジ案件となりました。リードタイムの大半を占めるリード加工を外注加工から



▲久保隅社長（右）ははじめプロジェクトメンバー

従業員の仕事の取組みに変化

様々な人脈形成に役立っている。

育成を軌道に乗せる良いきっかけになった。



▲大型スクリー加工機の操作風景

内製加工に、人手から全自動に移行することが解決策と判断。これまで6メートルを超える大型スクリーの加工は外注先に依頼していたのですが、設備投資により内製化することを最初に取り組みました。スクリー特有の微妙ならせん形状を二次元の図面では表現しにくく、外注先とのやり取りは特に時間を要してためです。

購入した設備は汎用的な複合加工機ではなく、スクリー専用加工機を選定しました。専用機ということもあり、6メートルサイズの大型スクリーの内製加工がようやく可能になりました。次に全自動化の取り組みですが、三次元CAD/CAMによる加工を前提とします。こちらは大変苦労しました。今回の補助事業を機会にスクリー加工の未経験者に任せることにしましたので、彼の習熟に時間を要してしまいました。補助事業終了後も習熟に努め、今では一人で任せられるよになり、目

標の短納期対応を実現することができました。

社内にどのような変化が起きたか

綾瀬市商工会から派遣された中小企業診断士の先生からは、補助事業に関すること以外にもマネジメントやマーケ

企業概要

神奈川県綾瀬市内の綾瀬工業団地に立地するパーカー精密工業株式会社は、射出成形機及び押出成形機用のシリンダー、スクリー等に使用する部品の製造・販売を行っている。40年もの歴史の中で技術力の向上に努め、東芝機械株式会社や倉敷機械株式会社など工作機械メーカーを主な取引先として事業を展開している。日本パーカライズング株式会社など様々な関連会社の連携による対応力が強みである。3メートル以上の大型のスクリーを取扱う企業は少なく当社も外注に頼っていた。今回の補助事業において、さらなる短納期化の要望に応えるため、設備投資を進めて内製化することに成功した。今後は既存取引先を中心に販売の拡大を狙う。

ティングなどの勉強会を行っていただき、様々なノウハウを得ることができました。一般企業がどのような取り組みを行っているのか、当社のような企業と比べて足りないものが見えてきました。また、生産管理専門のコンサルタントの先生も紹介していただきました。

補助事業のスタートと同時期に、品質向上委員会を立ち上げ、月2回集まって課題解決に取り組んでおり、今では色々なテーマに沿った小集団活動が生まれています。リーダーは先程申しましたスクリー加工を任せた従業員を任命しました。その結果、補助事業による新たな仕事のチャレンジと委員会の取り組みによってモチベーションアップに繋がったようで、成長が著しくとても頼もしくなりました。彼の成長を見ていると、どれだけ良い機械を入れても、やっぱり”人”が大切なんだなと感じております。彼の姿は同僚にも良い刺激を与えているようで、次期のリーダー育成が軌道に乗ってきたなと思います。ものづくり補助金はこのような様々な人脈の形成、社内の仕事の姿勢の変化など大きな変化を与えてくれましたね。